

TEEP

進化型実務家教員
養成プログラム

NEWS LETTER

VOL.46

TOPICS

ビジネスリアリティと学生支援を実現する 実務家教員の価値



神田外語大学 キャリア教育部
特任教授 高濱 優子 先生

実務経験を持つ教員が関与することで、学生はビジネス現場に即した知識とスキルを学び、実践的な課題解決能力を養えます。「基幹教員の登用」や「クロスアポイントメント制度」等が整備され、既存の教員と互いの強みを活かし合い、学生の成長に寄与できると考えています。

私は経営コンサルタントとして活動後、大学で人的資源管理やキャリア開発の分野で11年間教鞭を執っており、授業では理論学習後に実務に即した演習を取り入れ、学生の課題解決能力の向上を目指しています。企業の実態に基づく話が多いため、学生からインターンシップや就職活動に関する質問が頻繁に寄せられます。他の教職員や学生からも「その件は高濱先生に聞いた方が良い」と紹介され、関わりがなかった学生や保護者の相談にも応じる機会が頻繁にあります。今年は「インターンシップと銘打って無償労働をさせられているだけでは？」という相談が相次ぎました。就活生の約9割がインターンシップに参加し、募集側の意図も多様化している現在、実務家教員が経験を活かして学生に寄り添える存在になると期待しています。

現代のビジネス環境は急速に変化しており、実務家教員の講義はビジネスのリアリティを感じさせ、学生の学習意欲を高める効果があります。さらに、進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)を受講すれば、私が入職後に感じたアカデミアと産業界のギャップを埋める基本知識を事前に得られます。インターンシップへの参加や産学連携が増えている昨今、実務家教員が社会との橋渡し役として活躍することを願っています。

教員メッセージ

基本コースにおける 模擬授業の楽しみ



基本コースの担当教員として、毎年楽しみにしているのが、受講生の模擬授業の回です。実務的内容と理論のバランスなど、悩ましい課題が多いのも事実ですが、授業はどれも受講生の経験と強みが生きたもので、つい指導を忘れて聞き入ってしまいます。ちなみに、今年度の授業テーマは「健康管理入門」「広告企画入門」「地域活性化メディア論」「アセットマネジメント入門」でした。学生役も実務家ですので、授業後の意見交換の時間には、「こちらの業界では・・・」と仕事の話で盛り上がることもしばしば。模擬授業を通じて、TEEPのコミュニケーションの輪が広がればと願っています。

(人間文化研究科 准教授 川本徹)

TEEP \NOW/

みなさん、こんにちは！

2024年度の前期が終わろうとしており、基本コースの受講生は14名揃って修了見込です。専門コースに進む人、この学びを企業で活かす人、それぞれ成長を実感し、さらなる学びを継続されます。

専門コースでは、10月より「まちづくりコース」に3名、「経営実務コース」に1名新たに迎え、更なる専門性を追求し、研究力を高めます。

本学の初年次教育で、ファシリテーターを担当した修了生は、教員の大変さと、やりがいの両方を感じられたようです。

学生との関わりは自己を磨きあげる機会に！

このたび、進化型実務家教員養成プログラム（TEEP）の基本及び専門コースを1年にわたり受講したご縁から、名古屋市立大学が1年生に行う授業「ラーニング・コンパス」に関わらせて頂きました。この授業の狙いは、初年次教育として問の立て方をはじめ、学び方を学ぶ事。私はTEEPでの学びを実務家教員として実践を通して体得する有意義な場として捉えました。

そして、この登壇は自分の仕事スタイルや人への接し方を客観視出来るものとなりました。学生と社会人とは過ごしている世界が違います。仕事では顧客に対して提案や共創を行いますが、顧客との



相対経験がほとんどない学生への授業では、知っていることを前提に授業ができないため、疑似体験を組み込んだ学びを考え実践する必要があります、いかに私自身の体験を

学生に向けて翻訳できるかが鍵となります。この条件が整わなければ学生の「わかった」を実現できません。

本科目では、学生各自による受講後の感想や受講前の取組みもteamsを通じて確認出来ます。私自身、学問と実務がどう融合できるかを常に意識しており、教員の立場として学生が何を感じ、考えているか、それらが実務とどう繋がるのか、常に学生の歩幅（思考）を意識しつつ、自分なりの実務家としての要素を交え4回の授業に臨みました。

振り返りますと、教壇に立つ前の準備や授業当日の1時間半も含めて想像以上に大変でしたが、TEEPで他の社会人と磨かれた1年間や教員として学生に磨かれた4回の登壇は仕事の切り替えにもなり、私のモットーである「人はヒトでしか磨かれない」を体感出来た貴重な機会でした。

中日本エクシス株式会社 武見将史

名古屋市デジタル人材育成事業 経営人材育成講座 実施しています

- 【日 程】2024年 8月2日(金)
～9月20日(金) 全行程8回
※一部オンライン開催
- 【会 場】名古屋市立大学
滝子(山の畑)キャンパス
3号館 または 6号館
(名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1)
- 【テーマ】「IoT・AI・ロボット導入」
- 【主 催】名古屋市 Nagoya city Lab
- 【運 営】名古屋市立大学・名古屋工業大学
- 【内 容】

■基礎編

自社の強みを把握し、どこにIoTやAI、ロボットを導入するのが最適かを考えるとともに、AIの基礎となる機会学習や個人情報保護・情報倫理の重要性について学びます。

■応用編

ロボット基礎やIoT技術、産業応用事例の紹介、人間工学・情報デザイン分野におけるAIの具体的な活用事例を学びます。



お知らせ

TEEPコンソーシアムでは、2024年3月にロールモデルとなり得る現役実務家教員が、どんな思いで、いかなる活動をしているかをお伝えする電子書籍「次世代を育てるキャリア戦略」を発行いたしました。実務経験を活かして教育に携わりたいとお考えのかた、キャリアの活かし方をお悩みの方、是非一度手に取ってみてください。

<https://teep-consortium.jp/newsletter/book/>

公募情報

ピックアップ

- 電気通信大学
准教授(実務家教員)または
特任助教(実務家教員)
情報基盤とその運用技術 分野
- 大阪教育大学
テニュアトラック教員(特任准教授または特任講師)
多文化教育系(初等教育部門(国語科教育学))